

「ふるさと納税の在り方について」

～ 泉佐野市、伊東市から学ぶ ～

第 8 期 第 1 回 9 月 29 日 (土)

塾生 No.10 浅野 健

今回は野田聖子総務大臣（現衆議院予算委員長）が、「ふるさと納税制度」について話されたことをもとに今後の課題を踏まえて論じていきたい。

野田総務大臣は「本来は自らの故郷を思い出して、故郷の良い物を買って応援することで、生まれ育った地域を応援する趣旨であって欲しいが、そのようにはなっていない。」と話された。ある都市で返礼品を送る機会が増えて入る税金が増えても、一方ではその住人が違う都市の返礼品を受け取れば、税金が減収するのは言うまでもない。

ふるさと納税制度は行政、利用者、仲介業者、生産者、すべての介在者が納付予定の税金を、自治体間で奪い合う事に加担されていると言われている。

そこで、ふるさと納税のサイトで楽天等の幾つかを閲覧すると、楽天では1位になる事が多い、大阪府の泉佐野市では、地方（地元）の良い物を紹介する場であるべきが、新潟県、宮城県産米の返礼品が人気である。これでは都道府県をもまたいで形振り構わずの感じである。一方で、静岡県伊東市の場合にも、返礼品にはリゾートホテルの宿泊券を提供しているが、このホテルは市所有の保養施設か、地元沢山ある資本の施設ではなく、住友不動産のリゾートホテルである。これでは資本が大都市にあり、お金が地元へ落ちるのか、地方を助けられているのかは甚だ疑問である。

私はふるさと納税による税収格差の是正には、地域ブランドの発掘が必要であると考えますが、地域に神戸牛や、コシヒカリ、白い恋人の様な全国ブランドがすぐにできる訳でもなく、自助努力にも限界がある。仮に、この納税制度を変えてしまうようでは、我々の市民生活が混乱する恐れもある。

では、今後は地域間での競争力のない地域では、どのようにしたら税収が増えるのでしょうか。まずは食に限らずに、地域のあらゆる物を再発見する努力、それをグレードアップする努力をしてほしい。物真似をする必要は決してなく、例えば「リゾートホテル券」であれば、地域の史跡や名勝をめぐる「旅行プラン券」を作成する。他には「魚沼産コシヒカリ」に対しては、地元の米、酒、肉、野菜等の産品を組み合わせ「〇〇産お鍋セット」等、地元のブランドを一から作り上げる努力をして、ネット上で宣伝して売り込んでもらいたい。

情報化の進展（ネットの普及）は地方にとっては、利用者が少なく意味がないと思われるかも知れないが、実は地方にとっては、これ程にもありがたい物はないのである。これまでのように、都心部へ売り込みに行かなくても、ネット上で売り込める。そのチャンスは何時でも、誰でも、いくらでも可能になった。

地方の自治体は何時までも、他の都市におんぶに抱っこをしていては、他の都市でも真似をされてしまい、その内に消滅する危機感を持って、税収が上がる努力をして頂きたい。

平成 30 年 10 月 6 日 (土) 掲載可

以下 注釈、参考資料

注釈

ふるさと納税制度

図1 -ふるさと納税の仕組み-

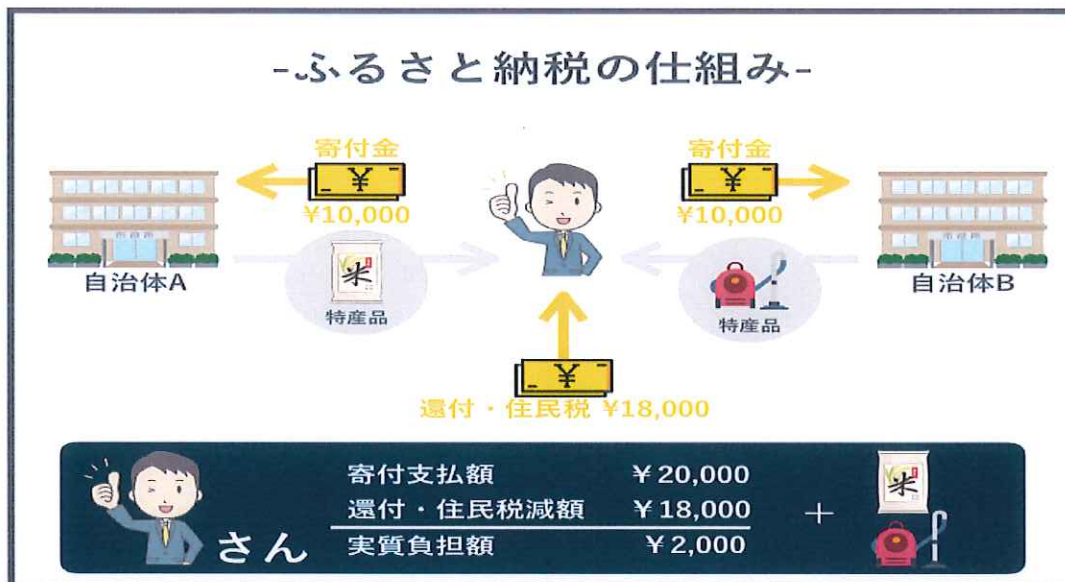


表1 控除の種類、戻って来る金額の計算式

控除の種類	返ってくる金額の計算式
所得税からの控除	(ふるさと納税額-2000円) × 所得税率 (所得に応じて変動)
住民税からの控除	(ふるさと納税額-2000円) × 住民税率 (10%)
住民税からの特例控除	(ふるさと納税額-2000円) × (100%-10%“基本住民税率”-所得税率)

図1、表1 出典：マネとも！お金はともだち

※サラリーマン家庭では各店申告が不要である。6つ以上では別途確定申告をしなくてはならない等…詳細は上述 HP を参考に、以下は紙面の都合上により省略とする。

参考資料

マネとも！お金はともだち HOME→金融コラム→ふるさと納税とは？仕組みや手続きを日本一わかりやすく解説しました【保存版】<https://monetomo.com/furusato-tax-payment-system>

楽天 泉佐野市 寄付ページ 楽天 HOME→ ふるさと納税→ 静岡県泉佐野市
https://item.rakuten.co.jp/f272132-izumisano/1-ay-b751/?s-id=rk_pc_furusato&s-id=furusato_pc_top_ranking_1st_p

楽天 伊東市 寄付ページ 楽天 HOME→ ふるさと納税→ 静岡県伊東市
<https://item.rakuten.co.jp/f222089-ito/h135-1810-0280/?s->

[id=furusato_pc_top_newitem_6p](#)